

# スタートガイド - 基本操作編 -

プレゼンテーション機能を使用するには、クラウド機能の使用如何に関わらず、無線で通信できる接続環境（Wi-Fi 接続）が必要となります。別途、お客様にてネットワーク環境をご用意ください。

### 設置場所

平らな面に置く

本体の周り（直径20cm）にモノを置かない

## 01. 事前に準備すること

### 【Sota 本体】

- ①電源を入れる
- ②Sota を Wifi に接続
- ③ライセンスを適用 (初回のみ)

### ④Sota が会話をできる状態が確認

※Sota レクなど別の機能が実行されている場合、プレゼン機能を使用することができません。

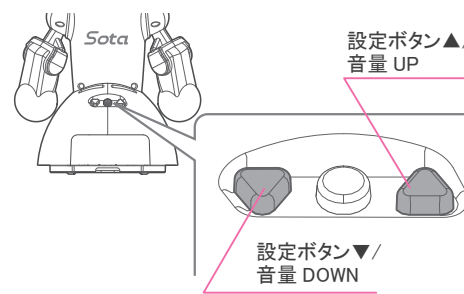
詳しくは、メンバーサイトに UP されている「プレゼン職人」の取扱説明書をご確認ください。

### 【PC 本体】

### ⑤プレゼン職人のインストール

※メンバーサイトより「プレゼン職人」をダウンロードして、ソフトウェアを起動してください。

## 02. IP アドレスの確認をしよう



01. 背面側の設定ボタンの▲▼を同時に長押し（約3秒間）して [設定モード] に移行します。
02. 設定ボタンの▲▼で設定モード内の機能を変更し、[IP アドレス] を選択して真ん中の実行ボタンを押してください。

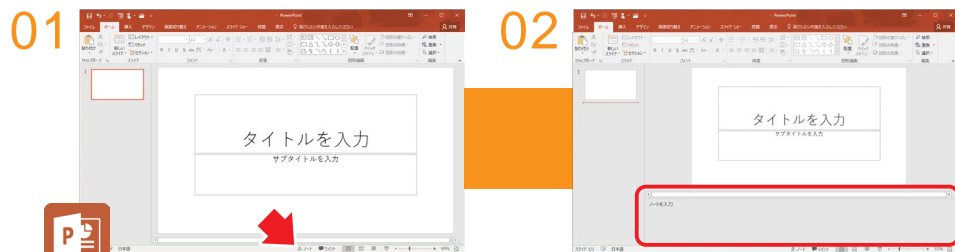
192 . 168 . \_\_\_\_ . \_\_\_\_



⚠ IP アドレスは、使用する Wifi 環境によって異なります。

- 【設定モード】
- ・ IP アドレス
  - ・ 動作テスト
  - ・ アップデート
  - ⋮
  - ・ 設定モード終了

## 03. PowerPoint ファイル内のノート欄にテキストを記入しよう



PowerPoint ファイルを開いて、「ノート」☰をクリックします。

「ノート入力」と書かれた場所にテキストを記入します。

### 【テキストの入力例】

本日は、〇〇にお越しいただきありがとうございます <←  
私は、商品説明を担当させていただきます、ソータです <←  
どうぞ宜しくお願いします

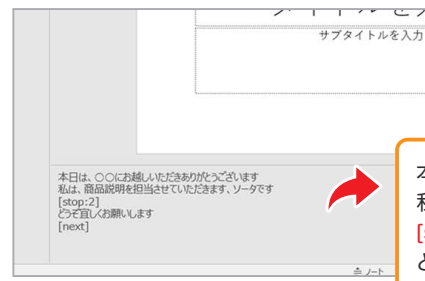
※改行：<←

## 04. 制御コマンドを記入しよう

制御コマンドを記入することで、スライドショーの進行を制御できます。コマンドは、[] (大カッコ) で挟み、半角英数で記入してください。

### 【制御コマンド】

- [stop:1] . . . . . スライドの進行を一時停止することができます。設定時間は、0.1 の値から指定可能です。
- [next] . . . . . スライド進行における「マウスの左クリック」や、「Enter」、「→」、などと同じ機能です。最後の行に記入することで、ページを進めることができます。



⚠ 上記の制御コマンドは改行で区切り、1行につき1コマンドのみ記入してください。

本日は、〇〇にお越しいただきありがとうございます <←  
私は、商品説明を担当させていただきます、ソータです <←  
[stop:2] <←  
どうぞ宜しくお願いします <←  
[next]

## 05. モーションコマンドを記入しよう

テキストに続けてモーションコマンドを記入することで、モーション（動き）を割り当てることができます。

### 【モーションコマンド】

**[pose:top\_righthand]** . . . . . 右手を上へ伸ばす動きをします。

**[pose:free]** . . . . . テキストの長さに合わせて動きます。  
短い内容や長い内容の場合にお勧めです。

**[thank]** . . . . . お辞儀の動きをします。

本日は、○○にお越しいただきありがとうございます **[pose:top\_righthand]** <|  
私は、商品説明を担当させていただきます、ソータです **[pose:free]** <|  
**[stop:2]** <|  
どうぞ宜しくお願いします **[pose:thank]** <|  
**[next]**

●上記コマンドを書き込んだら、拡張子 .ppts で保存してください。

⚠ モーションコマンドが記入されていない場合や、  
記入に誤りがある場合、発話のみが実行されます。

## 発話の確認・調整

音声合成機能のシステム上、意図した読み込みで発話できない漢字や、発音の抑揚が変に聞こえてしまう場合があります。

「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」のパターンで変換を試し、自然に聞こえるよう調整してください。

### 【変換前】 【変換例】

昨日	→	きのう
明日	→	あした
辛い	→	からい
怒らせる	→	おこらせる
冷麵	→	れいめん
何	→	なに
すっこく	→	すごく
ももくろ	→	モモクロ
一気通貫	→	いっきツウカン
気にしないで	→	キニ市内で

## モーションコマンド一覧

発話にあわせて動く

右手を上げる **pose:top\_righthand**

左手を上げる **pose:top\_lefthand**

両手を上げる **pose:top\_bothhand**

ようこそ(迎える) **pose:front\_bothhand**

右側を指す **pose:point\_righthand**

重要な箇所(右側) **pose:imp\_point\_righthand**

左側を指す **pose:point\_lefthand**

重要な箇所(左側) **pose:imp\_point\_lefthand**

嬉しい **pose:happy**

とても嬉しい **pose:veryhappy**

忘れる/疑問 **pose:question**

考える **pose:think**

お辞儀 **pose:thank**

うなずく **pose:nod**

手を振る(バイバイ) **pose:bye**

泣く **pose:sad**

歓声に答える **pose:call**

応援する **pose:support**

咳をする **pose:cough**

間違いにきづく **pose:mistake**

照れる **pose:shy**

ガッツポーズ **pose:fist\_pump**

ひらめく **pose:inspiration**

握手 **pose:shakehand**

観衆にアピールする **pose:attract**

胴体を右に振る **pose:right**

右に手を出す **pose:righthand**

胴体を左に振る **pose:left**

左に手を出す **pose:lefthand**

見渡す **pose:head\_view**

アイドリング(最大5秒) **pose:idle5**

アイドリング(最大10秒) **pose:idle10**

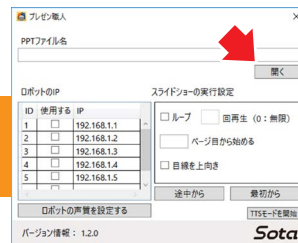
## 06. プレゼン職人からスライドショーを実行しよう

01



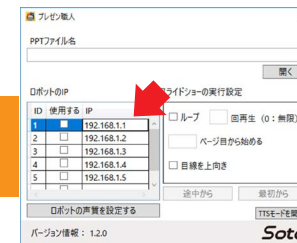
専用ソフト「プレゼン職人」を起動します。

02



開くボタンをクリックして、05.で保存したデータを選択します。

03



数字の上でダブルクリックして02.で確認したIPアドレスを記入します。

04



「最初から」ボタンをクリックすれば、スライドショーが再生されます。

### ・「ロボットに接続できていません」というエラー表示がでる場合

- ▶ IPアドレスが間違っている可能性があります。再度確認してください。
- ▶ 「使用する」のチェックが入っているかご確認ください。
- ▶ PCとロボットが同じWifi環境で接続されていない可能性があります。
- ▶ Sotaレクなど別の機能が実行されている可能性があります。

その他不明な点がございましたら  
メンバーサイト内のQ&Aページをご覧ください。

その他の制御コマンドや、詳細な使い方は、  
プレゼン職人の取扱説明書をお読み下さい。